

ENGLISH THROUGH INTERNET

—国際時事問題を通して—〔I〕

山西 敏博

1. はじめに

コンピュータでのインターネットを通しての授業が徐々に定着しつつある昨今である。授業にインターネットを通じて他校との会話や会議を楽しむといった実践も文部省の研究指定校では既に実践されている。公立小中学校では2002年からの学習指導要領の改定による「総合学習」の一環としてコンピュータの導入が急がれ、休み時間には児童生徒自身が思い思いにコンピュータを楽しむといった様子も垣間見られつつある。北海道の高等学校においても過去には旭川北高等学校英語科におけるインターネットを通しての授業の実践報告(川端 1997, 1998)がなされている。本論ではこれまでも様々な実践が試みられている中、インターネットを通じてタイムリーな国際時事問題を教材として取り上げ、それに伴う共同学習(cooperative learning)の実践やその効用について述べていくものである。

2. 実践概要

本実践を取り上げるに際して、その前段階として生徒に以下のような課題を提示した。概要は以下のとおりである。

Pick out one article from daily newspapers and comment in English about how you felt about it. (more than five sentences)

夏期休暇後の実力考査に自由英作文の一環として出題したものであるが、対象となる中学3年生総計114名をもとにして調査をしたところ、右上の表1のような関心事に分けられた。

表1

| 順位 | 関心のあった出来事 | 人数 | 比率(%) |
|----|---------------------|----|-------|
| 1 | トルコ大地震 | 36 | 31.6 |
| 2 | 神奈川県山北町玄倉川流域水難事故 | 28 | 24.6 |
| 3 | 甲子園桐生第一高校初優勝 | 6 | 5.3 |
| 4 | 国旗・国家法案成立 | 5 | 4.3 |
| | 北海道地区連日の猛暑 | 5 | 4.3 |
| 6 | 巨人VS中日 首位攻防戦 | 4 | 3.5 |
| 7 | 北海道代表 旭川実業高校 甲子園大活躍 | 2 | 1.8 |
| | 三浦知良 京都サンガ入団 | 2 | 1.8 |

以下少数意見(1名, 0.9%)

- 3大銀行合併 ・世界陸上 ・日食 ・わたあめ突刺事故 ・慶應義塾大学医学部生婦女暴行退学事件
 - プレイステーション新作 ・GLAY20万人ライブ
 - 海難事故多発 ・横浜連勝 ・北朝鮮不審船事件
 - 小樽すし食中毒多発 ・全日空ハイジャック事件
 - 7歳英検準2級合格 ・バレーボール 全日本VSスペイン ・たけし母死去 他
 - 花火(生徒の個人的体験) ・無答 9名(7.9%)
- 生徒が記した英文は以下のとおりである。

1. トルコ大地震：

- I was surprised at the news. I couldn't believe this news. I was very sad. I want to help them. Earthquake is very dangerous.
- When I heard the news, I was getting sadder and sadder. Many people were caught under fallen walls or roofs. Many people from all over the world were sent there to help them. But about 6,000 people died. What a terrible earthquake it is! (1999年8月23日現在)
- Torco[Turkey] was shaken by a terrible

earthquake. I'm afraid of this terrible earthquake. It is too sad for me. This is the most terrible earthquake that I have ever seen. I will send some money to Torco[Turkey].

2. 神奈川県山北町玄倉川流域水難事故

- It was a shocking news. I was very sorry about it. But I thought they may be foolish as they ignored the caution. So I thought their children were very very poor, because they were so young they couldn't make a decision that 'We must leave here.'
- I think they were very foolish. Why didn't they escape? Why were they camping there? I am not happy now. I cannot think anything.
- Why didn't they stop camping? Why didn't they listen to the police's caution? I am happy because a few people were helped by many people. But many people died. I want to keep[obey] the camping manner.

4. 国旗・国家法案成立

- It is a strange rule because they decided it by themselves. It doesn't need for us. It is foolish.
- It is a very bad news for me. I don't like Obuchi. I think this important project will be famous. It will be written in a history textbook. Japan will be bad. I hope we don't get a happy life by this project.
- Kimigayo is a very good song. Kimigayo is a very slow song. I often sing it. But I like American country song[national anthem] better than Japanese country song[national anthem]. Kimigayo is a country song[national anthem], I had thought.

これらの時事問題に関心をもたせ、更にそれについての意見、感想を英語を用いて表現することの大切さを理解させたく出題した形ではあったが、生徒

は比較的真摯に解答をしてくれた。これを踏まえて最も関心の高かった「トルコ大地震」についてより詳細に調べることはできないものかと思立ち、しかもその情報媒体を現代において各家庭にも普及され、現代の世界の情報が一一般家庭にまで入りこんでくる便利な機器としてのコンピュータ、及びインターネットを用いて学習意欲を向上させることは今後の生活にも必ず生きることであろうと今回の授業実践に踏み切った。

2-1 使用資料：

1. 受信メール(NIFTY MANAGER)1999/8/22
題名：Turkey Disaster 1999

差出人：Fukumoto Motoaki

受取人：日本の英語教育のためのML

<eflj-clc@clc.hyper.chubu.ac.jp>

英語教育ML

<english@hamajima.co.jp>

和歌山県情報化推進協議会文化情報部ML

<edu-net@fumi.eco.wakayamna-u.ac.jp>

2. YAHOO! NEWS World Headlines

address: http://dailynews.yahoo.com/h/nm/19990823/wl/quake_health_2.html

Monday August 23 6:56 AM ET

題名：Disease, Acid Rain Threaten Turk Survivors

3. YAHOO! JAPAN NEWS

① http://news.yahoo.co.jp/headlines/jij/990823/int/07244801_jijintx338.htrr99/08/23
1999年8月23日(月)7時24分

伝染病まん延の恐れは誇張＝国連の医療関係者が報道に疑問—トルコ地震（時事通信）

② http://news.yahoo.co.jp/headlines/mai/990823/int/11140000_maiintc03499/08/23
1999年8月23日(月)11時14分

<トルコ震災>原油流出など環境破壊への懸念高まる（毎日新聞）

4. 受信メール(NIFTY MANAGER)1999/8/22
題名：[DECJ:01655] Re:トルコ大地震

—トルコ大地震救済ボランティア詳細に

関するアドレスの紹介—

差出人：Sadatomi Nobuhiro

受取人：開発教育協議会 ML
<DECJ@ml.cup.com>

(注)ML = Mailing List：所属団体の登録会員に対して送られてくる公開情報

2-2 授業実践：

題名：INTERNATIONAL CONCERNS THROUGH INTERNET

目標：

1. 現代に生きる者として時事問題に関して関心を高めさせる
2. 時事問題について自らの意見、感想をもたせると共にグループ学習の意義も理解させる
3. 上記2. について自らの意見、感想を英語を用いて表現することを身につけさせる
4. 時事問題について検索するための情報媒体をコンピュータ、及びインターネットを用いて行い、機械を操作する事のできる楽しさを与えると共に学習意欲を向上させる
5. 今後もこういった情報媒体を通じて情報を得ることの大切さを教え、更に個人レベルにおいても独自で操作して情報収集を図ることを知らせる
6. 現代の国際社会に生きる者として多義の「国際理解」と「英語を学ぶ意義」を再確認させる

実践時案：

第1校時：資料1. の読み合わせ—教師主導，生徒意味の確認

家庭学習：資料2. の段落ごとの内容読解(班ごとに分担)

第2校時：資料2. に関するグループ学習—内容の読み合わせ：生徒班主導，教師助言，各段落ごとの内容発表，質疑応答，教師からの内容補足説明

資料3. 提示—資料2. (英字新聞)についての概略内容説明

資料4. 提示—教授サイト(インターネットアドレス)の提示

第3校時：

家庭学習：1. 「インターネットを通じての英語—国際理解—」感想文

2. 各サイトに家庭のコンピュータにてアクセス示唆

3. 同様の英語で記された時事問題に関する記事を抽出するよう示唆

上記6. の「英語を学ぶ意義」について目標を設定する際に、一生徒から以下のような投書が寄せられていた。

思案：「日本の教育」

日本の教育には問題が多いと言われている。その最大の問題点は、真の学問の意義を教えていないことではないかと思う。「あれをやれ、これをやれ」と言うことはあっても、なぜ勉強をしなければならないかということほとんど説明していないのではないだろうか。

僕は、勉強することの重要な目的のひとつは、真の自由を手に入れるためだと考えている。勉強することによって、知識が入り知恵がつく。すると、自分の考えと視野をもっと広げることができ、他人の考えではなく自分の考えをもつことができる。人として最も重要である思想・考えることの自由。これ

を得ることが可能となるのである。

これこそが、勉強の第一の、そして最も重要な目的であり、意義であり、存在理由なのではないだろうか。無論、社会への適応能力をつけるとか、人格形成を良い方向にもっていかとか様々なことがあるが、やはりこれが最も重要であると思う。(中略)

(平成11年度 3年1組 北嶺中学校学級通信「日々是充実」第14号)

現代の中学生、とりわけ中高一貫校の私立中学生は否応なく受験競争の波にのまれ、それにただ追従すべく日々勉強に追われている。無論自らの将来(卑近な目標で言えば「志望校/大学受験合格」)を見据えて入学を目指してきているのだが、ふと自我が芽生えてきたときに「なぜ、何のために自分は勉強をするのだろうか」と自問自答をするようになる。発達段階に見られる、だれしもがもつ一時期の悩みで

あろうが、確かに高校も含めた、特に一般的に「進学校」と呼ばれる学校では、この最も大事な命題がなおざりにされ「大学合格」のみを柱に馬車馬のごとく生徒を勉学に追い立ててしまう傾向も否めない。「進学校」の生徒だからこそ、高度な学問知識を学び、それを将来的に自らのため、また、社会のために生かしていくことこそ本当の意味での学問追求、学問を学ぶ意義であると筆者も考える。大学合格はその人生設計のほんの一通過点であり、それが究極の到達地点であるはずが決してない。このような生徒の悩みを解消すべく、また、英語を教科として教えていく立場にある者として上記のような目標を設定したのであった。

集団として学ぶ効果(cooperative learning)には以下のような利点がある。

1. お互いの知識が共用され、知識の不足が補完しあえる。
2. 理解している者は理解不足の者に対してわかりやすく説明する事で自らの知識を再確認でき、教えるという行動自体で改めて無知の知を悟ることができる。それによって更に深く学習しなければならないという意欲を生み出す。
3. 教わる者は知識不足が補完され、学ぶ喜びを得られる。
4. 集団としての励まし合いや連帯感が生まれる。

これらの効能を生み出すべく、また、難度の高い英語文献であっても個人の力と集団の協力をもってすれば読みこなし理解していくことができるという目標を掲げて教材提示をした。

第1校時：

資料1.を提示する際、どこからの提供か生徒に質問した。コンピュータを操作している者であれば一目瞭然である。ML(Mailing List)に登録していればこういった情報が入手できる旨を告げ内容読解に入っていた。FACTS, THE NEED, HOW YOU CAN HELPという文字が並ぶ。事実が淡々と書き並べられている文面ではあるが補足資料としてJAPAN TIMESの一面記事(1999.8.23)を提示した。瓦礫の中から90時間ぶりに救出された少女の姿がカラー写真で生々しく映し出されていた。地震は他岸の火事ではない。北海道でも数年前の奥尻島で起こった南西沖地震、同じ年の1月、道東地方を襲

った北海道東部地震…この地域はその2年後にも同等のマグニチュードの地震に見舞われている…、そして記憶に新しい神戸、淡路島に大打撃を与えた阪神・淡路大震災と地震大国の我が国はいつまたこのような災害に見舞われるかもしれないのである。文面の読み合わせと新聞からの補足情報を伝え、厳然たる事実を認識させるとともに更に詳細な内容が記されているインターネットから引用した英字新聞をそれぞれの方で読み取り、翌日グループ間で内容を読み取りその概略を確認するよう提示した。

第2校時：

災害に関する英字新聞記事であるだけに高校1年学習程度とはいっても実質中学3年生の生活経験ではかなり難解であったようであった。各班におよそ2段落ずつ、計6~8行というわずかな分量ではあってもそこに表示される専門用語を含む単語や熟語に対して生徒は苦戦を強いられていたようであった。後に挙手で計ってみると段落の難易度こそあれ、最短準備時間で30分弱、最長で2時間という者までいた。それでも参考資料として各家庭での日本語で記載されている新聞記事を基にして1文ずつの和訳を心がけて来た者が大半であった。中には家庭でのコンピュータを駆使して同じものをサイトで引き出し、それを翻訳ソフトにかけ、コンピュータを通じて和訳文を印刷して持参する者までいた。この生徒に関しては、この夏期休暇中にコンピュータのPERL言語を用いて独学でCGIで掲示板とチャット(インターネット上でキーボードを用いながら会話を行うこと)を含んだホームページを作成しているくらいコンピュータに精通している者である。

グループ学習の際には各自が取り組んできたものを班長が中心となりお互いに比較検討している。かなり難解な文面ではあったが読解内容はしっかりと取れている雰囲気はほうほうで見られた。発表(presentation)の時点で、代表者が1,2名前に立ち全文和訳と各段落の内容概略をし、発表終了の後に質疑応答を取りそれを順に繰り返した。各々の班がまとまった、内容を的確に捉えた発表をし、グループ学習の効果が早々に出た格好になった。

教師の補足説明の段階では、内容理解の確認を兼ねて個別に発問しつつ改めて段落ごとの要約を進めていった。

資料3.の提示では、英字新聞に記されてあった

「被災地の連日の猛暑による遺体の腐敗や地震の被害を受けた精製原油流出から起因した酸性雨の影響に伴う伝染病の危険性」について報じた内容に対して異論を唱えるかのような時事通信(1999.8.23)の記事、及び原油流出に伴う環境破壊の懸念が高まるといった内容の記事を毎日新聞(1999.8.23)のインターネットニュースから転載し、情報の比較検討をさせた。と同時に、「災害は起こった直後だけではなくそこから付随する「第2次災害」というものもある。また、そのほうが後々にまで悪影響を及ぼすので大変恐ろしいものなのである」と、時節柄広島、長崎に投下された原子爆弾やそれに伴って放射能の塵を作り出し地上に向かって50数年を経てもいまだに苦しむ人々を生み出した「黒い雨」の話も盛り込んで説明した。生徒たちは過去これに先立ち下記の内容の授業を受け、国際交流の体験をしている。

平成10年度：7, 11, 1月

- ベトナム戦争の経緯
- 枯れ葉剤に代表される殺虫剤成分の物質の脅威
- 枯れ葉剤の犠牲者となったベトナムの生涯 (PPM songs, Cheer Up, Viet and Ducl, 1990)

平成10年度：3月

- チェルノブイリ原子力発電所事故の災害
- 後遺症に苦しむ人々の生活
- 核・エネルギー問題に対するDEBATE(討論会)

平成11年度：7月

- ベラルーシ共和国からのチェルノブイリ原子力発電所事故災害第2次被災児童(母親が被爆をし、その子どもとして生まれながらに身体に障害を抱えた子)の本校訪問と交流

これらの前情報や体験から一様の災害の概要をつかんでいった。

資料4.の提示では、個人あてに書かれた電子メールであってもメールリストを通じて登録会員には同時に送られるという利便性のある意味でのプライバシーが公開されてしまうというコンピュータの功罪を伝えつつ、トルコ地震に対する救援サイトの紹介をした。「アドレス」というコンピュータ上に連絡先を打ち込むと家庭にいながらにして世界の情報が入手できるということを紹介し実際に行動することの大切さを力説した。一方実際に行動に移すこと

は各自の考えに任せる事にし、あくまでも自主性を重んじて強制はしないよう心掛けた。これに伴って本校寮生が「トルコ地震に対する救済募金活動」を行うことになり、机上の情報を得て自らの知識とし、これを身近に行動を起こし実践するという「世界の出来事」を「自分の事」として捉えることができる者が出てきたのは大変うれしいうりであった。

第3校時：(家庭学習)

1. <インターネットで学ぶ英語について—国際理解—>(感想)

- インターネットで英語を学ぶ事は大変良いことだと思う。特に普通に生活していたら英語で書かれた新聞の記事は読む機会はないのでそういう面でも大変良い。
- 今回のトルコ地震について全て英語で書かれたホームページを見ることによって、これからの世の中はインターネットにせよ何にせよ、英語は私たちの身の回りでもたくさん使う機会が出てくるだろうと思い、英語の必要性を感じた。
- コンピュータの発達した現在ではインターネットを通じて世界各国の様々な情報を即座に得ることができるので、それを読むためには英語をしっかりと勉強していきたいと思う。
- インターネットで英語を学ぶという事は非常にすばらしい学習方法だと感じる。なぜなら地方など勉強があまりできる環境ではない所でもパソコンに電話回線をつなげばだれでもできる学習方法だからだ。しかもインターネットはリアルタイムで情報が更新されてくるのでいつでも新しい情報が得られる。よってインターネットの新聞記事などが載っている所を見れば時事問題にも強くなる。今回のように積極的に英語に触れることもできる。これこそ未来の学習方法と言えるだろう。
- コンピュータを操作しながら世界の重要問題が見えてくる。もっと家庭のコンピュータを利用して知識の幅を増やしたい。国際人として英語をマスターするのは必然的になるだろう。これからもますます英語の授業を頑張っていきたい。
- 今回のように何か大変な事が起こった時に、他国にインターネットを通じて助けを求めたり何が起こったのかを伝えるのはいいことだと思う。
- 今回の学習でトルコが大変だということはわかったが、もし英語がわからなかったら何も伝わらな

かっただろう。そういう意味ではインターネットの素晴らしさと英語が世界共通語だということを改めて感じた。

- 英語の勉強の必要性を強く感じた。トルコ人とトルコ語では話せないが、英語ならトルコ人が日本語ができなくとも話せると思ったからである。
- 普通のニュースでは聞き流してしまう細かな情報をコンピュータから英語を通じて学べたことは素晴らしいことだ。
- インターネットを通して英語の文を読むのはとても難しいことだ。しかし、それができるようになれば先生が言うようにいろいろなことに関心もてるだろうし、何よりもいろいろな情報が入ってきて面白い。世界中の困っている人の事や起っていることがわかり、世界の運動に参加できるようになる。このような学習はとても大切だ。
- 英語を勉強する意義は、他の言語を知ることで1つの言語だけでは知りえなかった情報を知ることができることだと思う。

<参考文献>

- 受信メール(NIFTY MANAGER)1999/8/22
題名: Turkey Disaster 1999
- YAHOO! NEWS World Headlines
address: http://dailynews.yahoo.com/h/nm/19990823/wl/quake_health_2.html

Monday August 23 6:56 AM ET

題名: Disease, Acid Rain Threaten Turk Survivors

• YAHOO! JAPAN NEWS

① http://news.yahoo.co.jp/headlines/jij/990823/int/07244801_jijintx338.htrr99/08/23

1999年8月23日(月)7時24分

伝染病まん延の恐れは誇張=国連の医療関係者が報道に疑問—トルコ地震(時事通信)

② http://news.yahoo.co.jp/headlines/mai/990823/int/11140000_maiintc03499/08/23

1999年8月23日(月)11時14分

<トルコ震災>原油流出など環境破壊への懸念高まる(毎日新聞)

• 受信メール(NIFTY MANAGER)1999/8/22

題名: [DECJ:01655] Re: トルコ大地震

—トルコ大地震救済ボランティア詳細に関するアドレスの紹介—

• 石山昌周(1999)「日々是充実」3年1組学級通信 1999.8.23 北嶺中学校

• *The Japan Times*(1999) “Chaotic relief effort tightened” 1999.Aug.23

• *The Japan Times*(1999) “Turks hasten to bury thousands of dead” 1999.Aug.23

(北嶺中高等学校教諭)